

世田谷キャンパス近くの異文化交流拠点

国際学生寮の巻



本学「国際学生寮」は、世界各地から集まった多様な価値観を持つ学生たちが相互に理解を深め、幅広い人間関係を形成する場となることを目指して、2019年4月に開設しました。世田谷キャンパスまで徒歩3分、多摩川に程近い立地にある本寮には、海外留学生・研究者のほか日本人学生も入寮することができ、現在、日本を含む6か国・47人の学生が生活を共にしています。日本建築の様式である水平と垂直のラインを活かした鉄筋コンクリート造4階建ての建物は、2階～4階に寮室を配し、1階に広々とした国際交流ラウンジを設けた設計。クリスマスには寮内外のさまざまな国籍の学生が集うパーティが、1階のラウンジにて開催されました。そんな国際学生寮の特色を、寮生たちの“世話役”であるレジデントアシスタント(RA)の声を交えて紹介します。

1階のラウンジは、ミーティングの場としたり、寮生以外の留学生も呼び、国際交流の場としても活用しています。



1F

国際交流イベントにも利用される 国際交流ラウンジ

1階の国際交流ラウンジは、普段は寮生たちのくつろぎの場として、時には国際交流イベントを開催する場として利用されます。ラウンジの一角には茶室があり、寮生だけでなく、海外からの訪問者にも日本文化を体験してもらえるようになっています。ラウンジの最奥にはプロジェクターが設置されていて、大画面で映画を楽しむ学生も。ほかには、キッチンやランドリーといった共用施設が設置されています。7月には、このラウンジにて“最も美味しいオムライス”を決める寮生チーム対抗の料理イベントが催され、多様な食文化をもつ寮生たちの親睦を深めたとのことでした。



多目的に利用できる、明るく広々としたラウンジ。京間の茶室では、本格的な茶会を催すこともできます。



オムライスイベントの模様

1階のラウンジは広いですが、冬でも暖かくて快適です。ここで開催するイベントを企画するのも、私たちRAの役割なんですよ。



2019年度 Resident Assistant

レジデントアシスタント、略してRAは、寮生が快適に過ごせるよう相談に応じたり、イベントを企画するなどの働きをする学生サポーターのことです。本寮では現在、5人のRAが任に当たっています。

都市生活学部
都市生活学科 1年
是谷 充輝さん

出来たばかりの寮で前例がない中、これからの生活の基礎を作りたいと志願しました。異なる文化をもつ仲間との交流は楽しいですね。

工学部
都市工学科 3年
益子 時佳さん

ニュージーランドへ留学した時にRAのような役割の人がいて、助けて貰った経験があります。私も寮生を助けたいと思いRAになりました。

工学部
医用工学科 1年
川上 美生さん

寮監さんにやってみない?と言われて、せっかくだからと立候補しました。いざやってみると、寮生との交流も増え、よかったですね。

工学部
建築学科 3年
佐竹 光一さん

留学生の買い出しの手伝いなど、RAは身の回りのサポートもします。希望を聞くのも仕事で、最近は1階への卓球台導入を考えています。

メディア情報学部
社会メディア学科 1年
高杉 優作さん

RAは思った以上に忙しい仕事ですが、企画したオムライスパーティで、みんなが楽しそうにしていたのを見たときは嬉しかったです。